

事業名		道路改築	箇所名		
区分	評価項目	評価区分	得点	備考	
必要性 配点30点	計画交通量	A 計画交通量10,000台/日以上	15		
		B 計画交通量1,500台/日以上10,000台/日未満	10		
		C 計画交通量1,500台/日未満	0		
	代替道路	A 唯一の道路である(迂回路はあるが30分以上の迂回を伴う)	10		
		B 代替となる道路がある	0		
	ネットワーク (道路網)	A 駅やインターチェンジが20km以内にある B 駅やインターチェンジが20km以上にある C 駅やインターチェンジに通じる路線でない	A	15	
			B	10	
			C	0	
		A 通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である B 山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する C 山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない	A	20	
			B	15	
各事業特有の必要性 (安全の確保)	A 観光地に通じる道路 (来客数5万人以上/年) B 観光地に通じる道路ではない	A	10		
		B	0		
		すれちがいしやすく、急カーブ、急勾配を緩和 A 5.5m未満 又は 60m未満 又は 6%以上 B 5.5m以上6.5m未満 C 6.5m以上	A	15	
	B	10			
	C	0			
	A 自動車と自転車・歩行者との分離を図る B 歩道はあるが不十分であるものを再整備 C 自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない	A	15		
B	5				
C	0				
重要性 配点15点	関連計画との整合	A 県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)	40		
		B 県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)	25		
		C 該当なし	0		
設計上の環境・ 景観配慮	A 環境・景観配慮がされ確実性が高い B 環境・景観配慮がされているが確実性が低い C 環境・景観配慮をしていない	A	25		
		B	15		
		C	0		
地域の法的な 位置付け	A 緊急輸送路(1次)に位置付けられている B 緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている C 特別な位置づけはない	A	35		
		B	20		
		C	0		
効率性 配点15点	費用対効果	A B/C 1.0以上	20		
		B B/C 1.0未満	15		
	事業効果の早期発現 (事業年数)	A 事業年数 5年未満	35		
B 事業年数 5年~10年未満 C 事業年数 10年以上		20 0			
コスト縮減	A 全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。 B 部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。 C コスト縮減を実施していない。	A	45		
		B	30		
		C	0		
緊急性 配点20点	安全性の向上	A 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	30		
		B 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	20		
		C 交通事故や落石等の危険がない	0		
	各事業特有の緊急性 (渋滞対策・環境保全) (医療・福祉・教育)	A 主要渋滞箇所又は騒音・振動箇所が緩和する	35		
		B 主要渋滞箇所又は騒音・振動箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する	25		
		C 渋滞対策又は騒音・振動対策ではない	0		
A 医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	35				
B 医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化を図れる)	25				
C 医療・福祉の連携に関係ない道路	0				
(新規) 計画の 熟度 配点20点	地域からの要望	A 地域住民の内発的な要望が強い	35		
		B 市町村等からの要望	25		
		C 特に要望がない	0		
	事業情報の共有	A 広く一般に周知	35		
		B 関係者中心に周知	25		
		C 特に周知していない	0		
住民参加の状況	A 住民が計画策定に直接参加	30			
	B 住民や市町村の意見を計画策定	20			
	C 特に住民意見は反映していない	0			